



恋に師匠な

DOJIN
R18

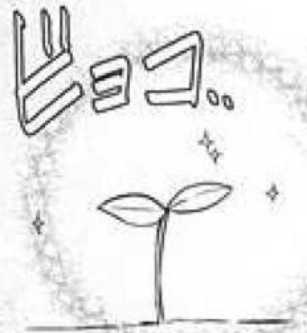


…本当に
はじめて？



いけませんか

僕には幼い
恋人がいます



もちろん
今の世にある
ほぼ全ての存在は
僕より幼いけれど

彼は
見た目からして
未だいたいけな
少年です



けれども
何とも表し難い
経験と余裕の
ある目をしていて



女にも
すいふんと
もてていました

見た目は
ともかく
何千歳は
あるわけです

これは
恋愛経験も
相当あるだろうと
思いました

が

モじ...

しかも桶屋

妙に手つきが
落ち着かないもんで

何
どうしたの





見るからに
困窮中



それってやつぱり
僕が君に
挿れた方が
いいんじゃない？
あんまり嬉しから
負けてやったけど

もしかして…
初めて？

そして
紙ページと
なったわけ
でした

そうならば
行為の途中に
つい狼牙棒で
頭をぶっ飛ばす
かもしれません



自分から
ねだって
付き合って
やってるのに



本気だあ…









こんな風に僕が
リードするなんて

わーっ

びびる...

初めて
だよな



こいつ妙に
大人びてて
マイペース
だから

いつも
振り回されて
たのに

白澤様
鬼灯君と
付き合う
ことに
したんです

それなのに
毎日
衆合地獄に

子供相手に
嘘をついたん
ですか

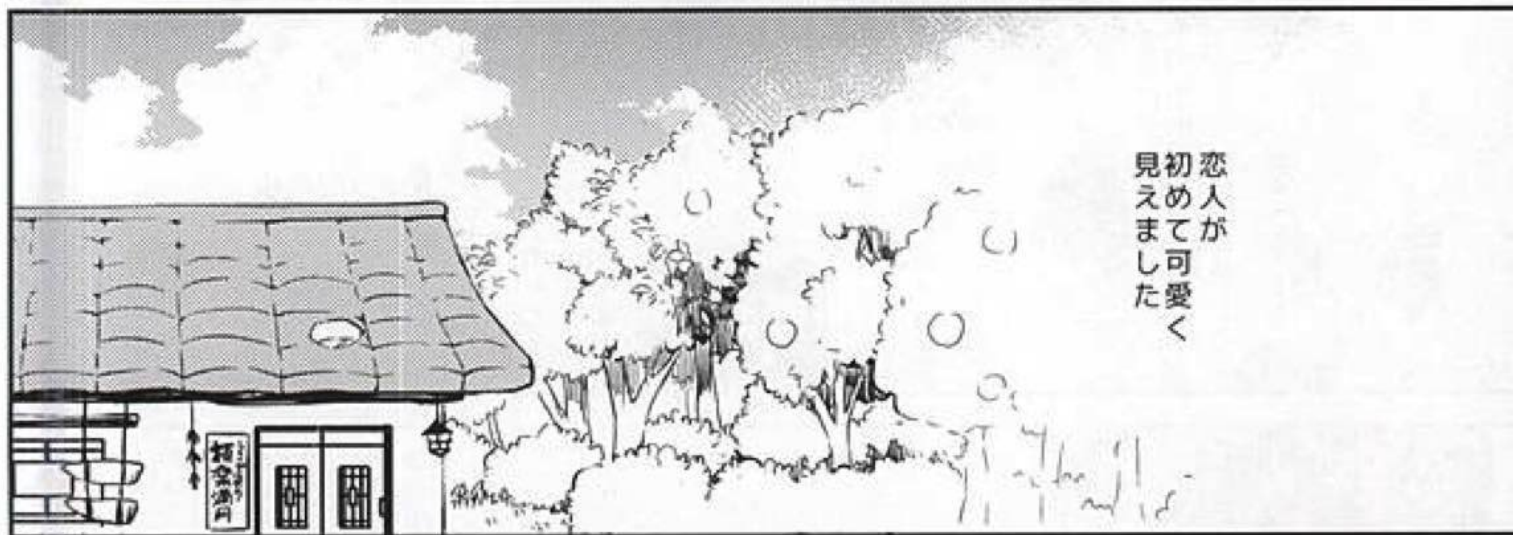
本書は
付き合うことに
なつたのも
半分強引だった

えっ
いやその
ただの子供の
遊びで

神獸様
手形押して

うん？何の
遊びだい？





それからも
何度か身体を
重ねたけれど

始終ずっと
こっちの
ペースで

幼い恋人は
姿勢を
変えても
もたついて

僕の指示と
リード通り
動いてくれた

もたもた
してるの
かなり
可愛いな

そりゃあ今まで
一角野郎に
散々振り回された

主導権が
どうか
誰と付き合っても
僕は下手に出る
方だったから
別によかったけど

これはこれで
嬉しいもんだ

この
調子なら

ここからは
僕がリードする
勢田気で
いけるんじゃない？

好きに〜の〜の〜

欲しい物は
何でも置つて〜

普段はこんな感じ

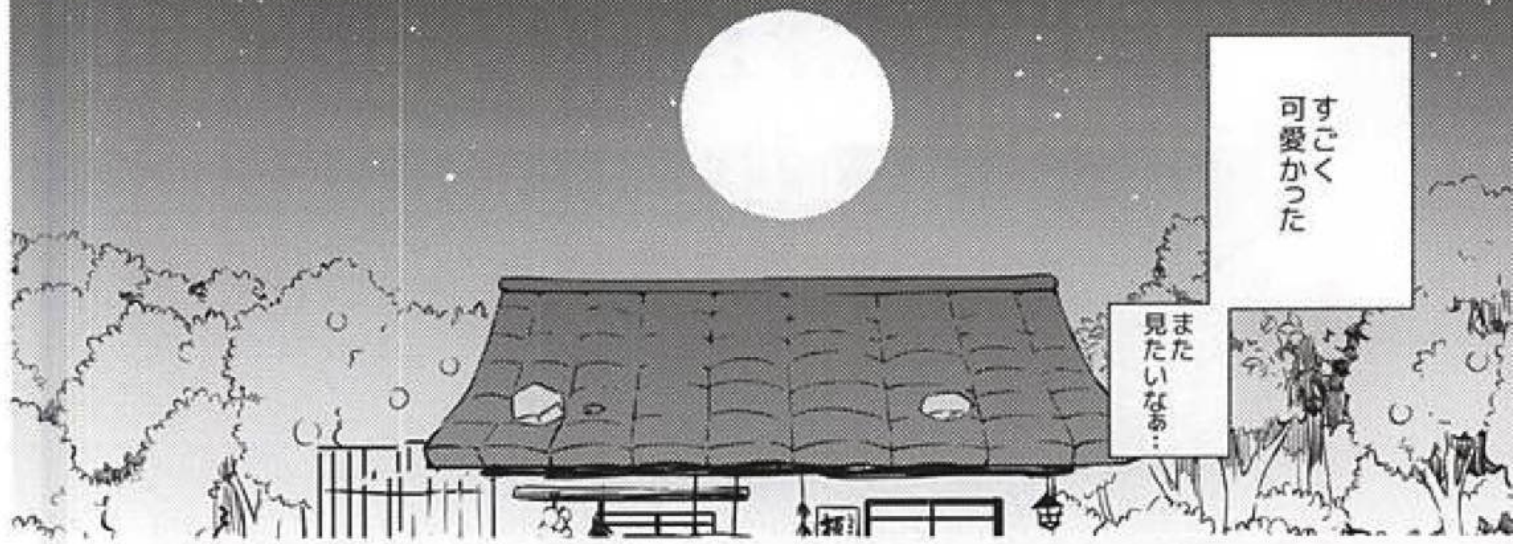
可憐な
お姫様
大人気
の可愛い

Hも十分
気持ち良かったし

下手なのは
教えてやれば
いいし

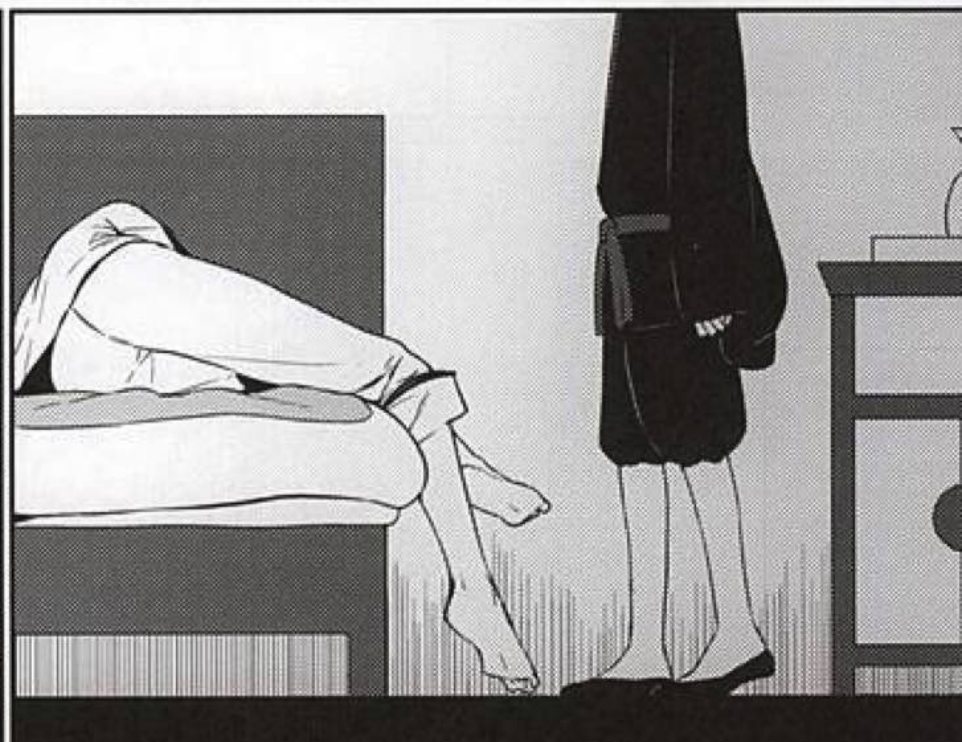
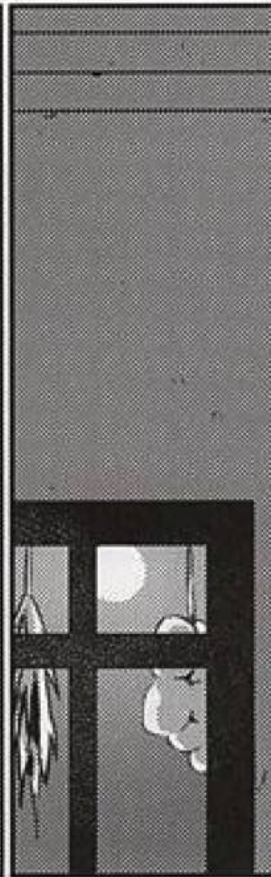
それに

いっぱい
感じて
顔が



すごく
可愛かった

また
見たいなあ...





いやいや
待ってて
眠っちゃった
だけだから



あ…
来たの

寝てると
知ってたら
来なかったん
ですけど

はい
遅くなって
すみません
残業があつて



仕事だと
ろくに
食べなかつたら
何か食べ物
出すから



遊んでつて
泊まってもいいし

まだ夕方だし
店じまい
早かったから



ん？



それは
かまいません

いえ



白澤さんを...



ただ...



年下

年下
可愛い

ああ

僕が悪かった!

だよねあ
盛りだもん

ドサッ



ちゃんと聞いてみるべきでした

!



それともワ・タ・シ?



どっちにする? お風呂?

ご飯?



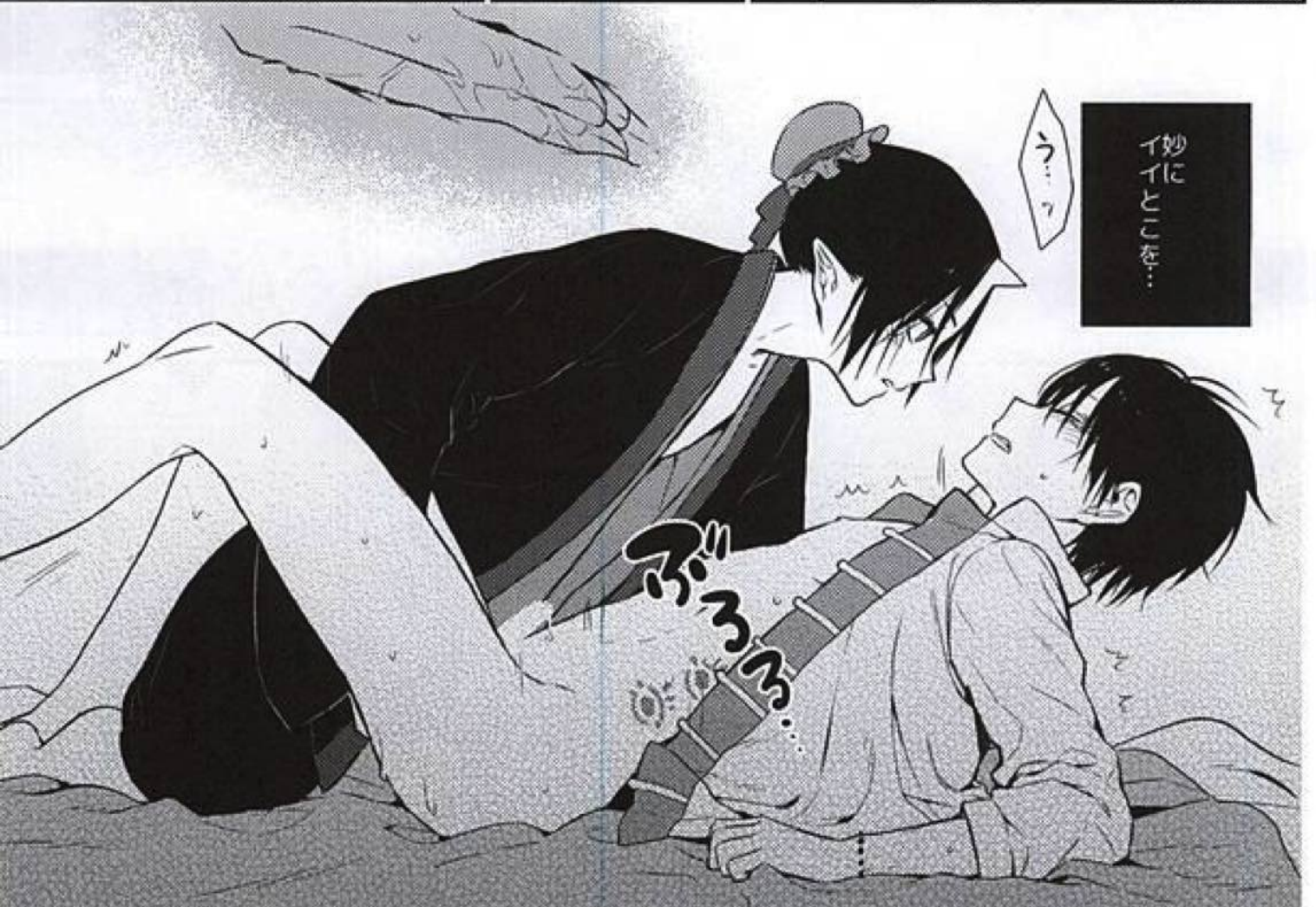
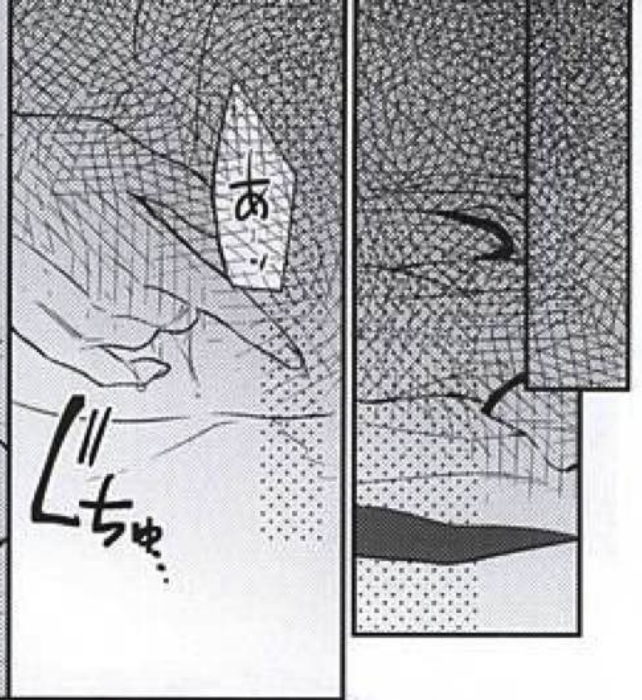
答えはもう聞いたけどー

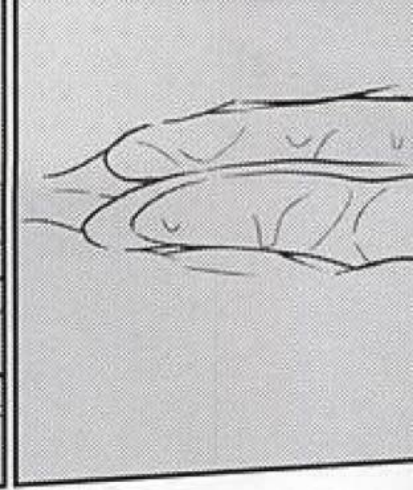


ううん

んんん











完全に
ペース持たせて
かれてる



挿れます



……あ

アー

しな



あ……

ちゃん
あ……

僕から
ちゃんと

……

……

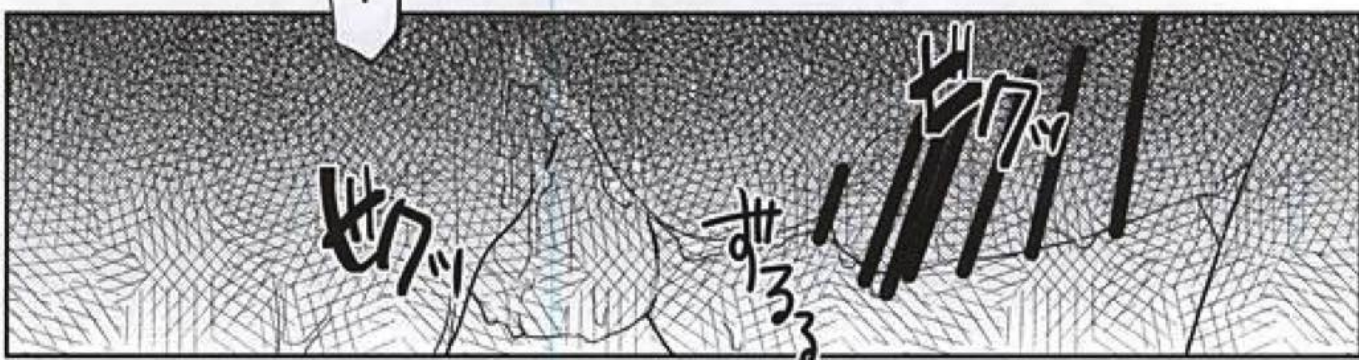
……



トト...



は...



クワッ

クワッ



何のことですか

いいや
なんでもない



そ、それより
今日はやけに
積極的だったよな



…お前

何か
やったの？

はい？
何をですか

いやその…

勉強とか

修行とか



最初から

何だか私ばかり
感じてたみたいで



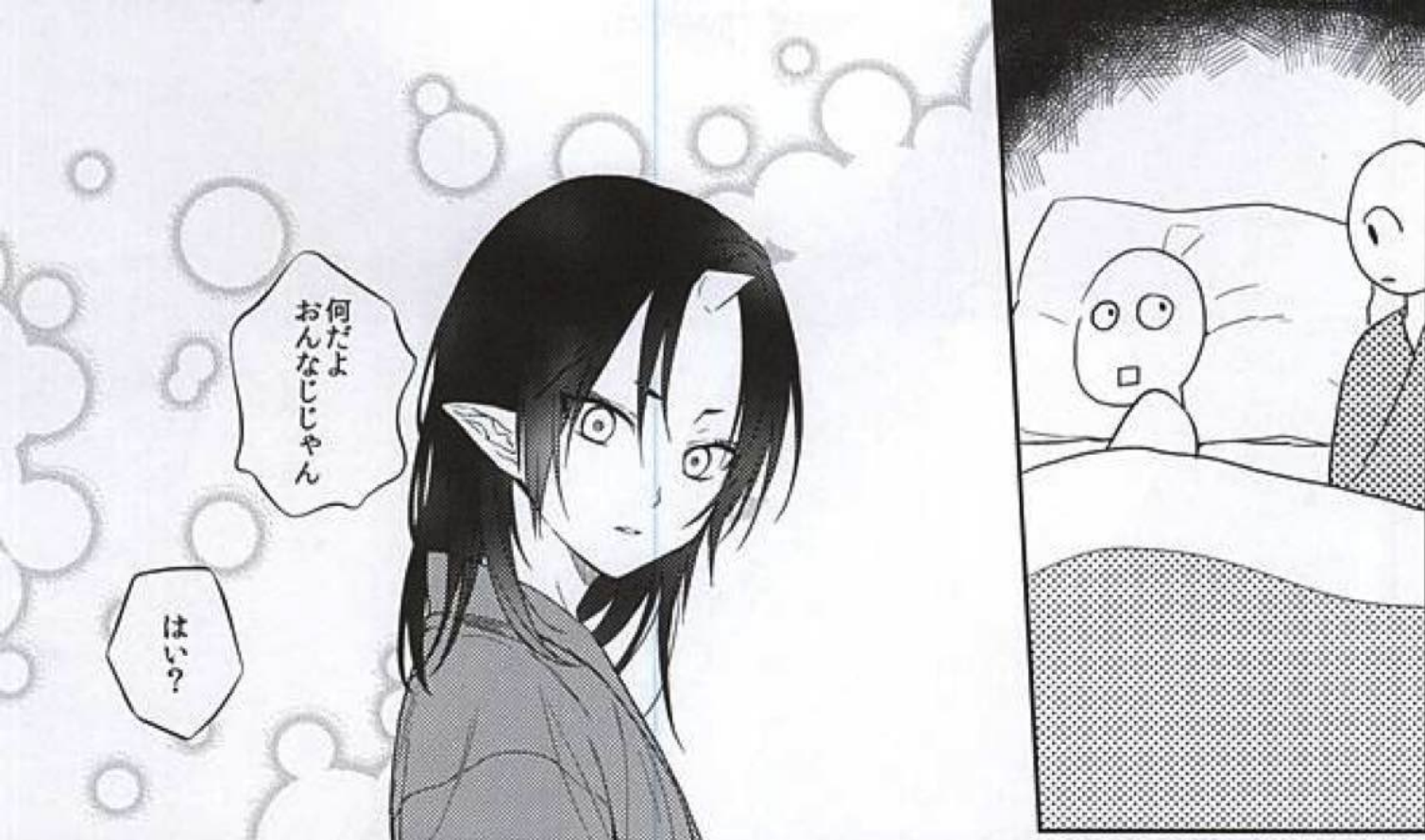
白澤さんに
いっぱい感じて
もらいたかったんです

いっぱい
感じてる顔を
見たかった

それに

いっぱい
感じてる顔が
すごく可愛かった

また見たいなあ



何だよ
おんなじじゃん

はい？



Hって一人で
やるもんだよな

そうだ



？



しーだの何だの

クルッ

眠いんですか
灯り消します

僕が馬鹿だったあ

おやすみなさい

……うん
おやすみ

よかつたけど
こいつこれから
どういう化けもん
なるワケ?

しかし頭が切れるって
こういう面でも
有効なのかな…

何とも言えない恐怖に
中々寝付けない
白澤だった

賢者タイム

恋に師匠な